

第2期当麻町まち・ひと・しごと創生総合戦略の全体像（人口ビジョン含む）

人口ビジョン

中長期展望(2060年まで)

【現状】

- 2015年人口6,689人から2060年2,581人まで減少(社人研推計)
- 合計特殊出生率1.42で、近隣市町や全道平均より高く、全国平均並みである
- 出生数よりも死亡数が多く、年間50~100人程の死亡数超過が長く続いている(自然減)
- 転出超過が続いていたが、2017年に転出と転入が同数となり、直近では転入超過に転じている(社会増)

【2060年人口の将来展望】

- 合計特殊出生率を0.65上昇させ2.07(人口置換水準)にすることにより、自然減に対応する
- 転入者数と転出者数の均衡もしくは社会増を維持する

●2060年の人口を社人研推計の2,581人から3,928人まで増加させる

に実2よ
の現6
の施0
策た年
をにの
展総
開合
展来
望展
略望
の

第2期総合戦略(2020~2024年度の5か年)

理念

食育・木育・花育による「地域資源をいかした安全・安心で魅力あるまち」とうまの力で築く持続可能な地域の創造

基本目標と基本的方向

住みやすい環境や子育て環境をいかに、結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

- 【数値目標】
- 合計特殊出生率の向上:1.60(2024年度)
 - 新たな交流人口の拡大:30,000人/年

地域資源をいかした産業活性化による雇用の創出を図る。

- 【数値目標】
- 施設や店舗の立地等による新たな雇用の増加:20人
 - 店舗の新築・改築合せて:10件(いずれも5か年累計)

地域産業の好循環による“とうまの魅力”をいかした新しいひとの流れを創造する。

- 【数値目標】
- 町外からの転入者数:200人
 - 移住・定住世帯数:50件(いずれも5か年累計)

特色のある地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する。

- 【数値目標】
- 観光入込客数:40万人/年
 - スクールバスや福祉バス、タクシーの運行:2019年体系維持

主な施策

- 結婚・出産・子育て支援の充実
 - ⇒婚活イベント開催等の出会いの場の創出支援
 - ⇒出産・子育てに関わる相談窓口の充実
 - ⇒高齢者等による放課後保育、子育て学習機会の拡充 など
- 教育環境をいかした交流人口の拡大
 - ⇒食育・木育・花育施設の充実による町内外から交流人口を拡大 など

- 創業支援と販路開拓
 - ⇒ICT技術を活用した情報発信番組によるとうまの魅力発信(ローカル番組等)など
- 地域再生事業等による雇用の創出
 - ⇒産業振興や教育における若者・高齢者・障がい者のまちづくり活動への参加 など
- 就業機会の拡大に関わる取り組みの推進
 - ⇒農林業体験の実施(農林業の承継) など
- 地域資源をいかしたまちづくり
 - ⇒地産木材を活用した店舗等整備 など

- 移住・定住促進
 - ⇒町産木材を使用した住環境の創出
 - ⇒移住促進住宅の整備
 - ⇒優良な宅地の分譲 など
- 3育をとうまブランドとして定着させる取組
 - ⇒子どもへの教育によるUターン促進
 - ⇒情報発信活動 など
- まちづくり寄付の推進
 - ⇒ホームページ等によるPR など

- ICTを活用したとうまの魅力発信
 - ⇒ホームページ等による情報発信強化
- 上川中部定住自立圏構想による連携
 - ⇒定住自立圏としての医療連携 など
- 地域公共交通の維持による外出機会の確保
 - ⇒地域公共交通の確保維持による移動の支援

主な重要業績評価指標(KPI)

- ◆整備した交流施設の雇用者数の維持及び増加:12名(2024年度)
- ◆木育推進拠点施設の交流人口:20,000人/年
- ◆イベントによる交流人口の増加:1,000人/年
- ◆食育・木育・花育イベント開催の満足度:70%

- ◆新規開業者への補助件数:10件
- ◆企業版ふるさと納税額:1,500万円
- ◆施設や店舗の新築及び改築に関する相談件数:20件(いずれも5か年累計)

- ◆定住・移住の相談件数:75件(5か年累計)
- ◆地域の木材を活用した住宅整備:50件(5か年累計)
- ◆PR活動の実施:10回/年
- ◆ふるさと納税額:5億円/年

- ◆ホームページの閲覧数:160,000件/年
- ◆連携事業の継続
- ◆高齢者、障がい者へのタクシーチケットの配布、福祉バスの運行を継続